

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
小島 光治	こじま みつはる	ユーエンタープライズ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・20年以上、雑誌社の発行人として従事したため、広島都市部のまちづくりを提案し、官民一体のムーブメントを組織し、そのいくつかを実現。－ライトアップキャンペーン、水上バス運行推進、地元商店街振興－ ・中国地方整備局、中経連が推進する「夢街道ルネサンス」の推進会議の委員として認定箇所(現在42箇所)の「地域活性化まちづくり」を指導。 ・国土交通省道路局の「社会実験推進に関する懇談会」委員として全国各地の採択箇所を視察、指導。
坂本 世津夫	さかもと せつお	愛媛大学 社会連携推進機構	<p>H14年4月からH17年3月まで、愛媛大学にて「地域情報学」(伊予銀行寄附部門)を担当する。H17年4月からH23年3月まで、高知大学国際・地域連携センター教授(生涯学習部門長)。平成26年10月より、愛媛大学社会連携推進機構教授として、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」、「地域の未来をステークホルダーと共に創る実践的人材の育成」に取り組んでいる(愛媛県南予地域担当の、地域連携コーディネーター)。その他、日本の情報化を、地域という視点で見直し、地域における「知的能力」と「コミュニケーション能力」を高めることにより、新たな産業集積や地域の活性化(地域の自立)が実現できないか、研究・実践している。</p> <p>APPLIC(一般財団法人 全国地域情報化推進協会)の「ICT地域イノベーション委員会」でアドバイザーを務めている他、四国のICT利活用促進、ICT地域イノベーション、ICT人材育成に取り組んでいる。</p> <p>平成15年9月、「地域産業おこしに燃える人」(内閣官房・経済産業省)に選定される(小泉総理より、首相官邸にて)。平成19年3月、内閣官房より「地域活性化伝道師」にも選定される。地域情報化アドバイザー(総務省委嘱)、四国情報通信懇談会、日本テレワーク協会(アドバイザー)、ICT地域マネージャー(総務省委嘱)、現代龍馬学会他</p>
清水 慎一	しみずしんいち	大正大学地域構想研究所	<p>観光交流を活かした豊かな地域づくり、「住んでよし訪れてよし」の観光地域づくりをどのように進めるか。このような問題意識のもとJR/JTBの役員時代から各地域を周り、あちこちのアドバイザーを務めてきた。このなかで、単なる専門家のアドバイスやスキルの伝授、更には一過性の講演、一年限りの専門家派遣事業だけでは地域は持続的に観光地域づくりを進めることはできないことを悟った。何故ならば、派遣される専門家も受け入れた地域、特に行政が結果に対して何の責任を持たない事業は「観光ごっこ」「まちづくりごっこ」であって、住民にとって全く迷惑以外の何物でもないからだ。私としては、住民の内発的な力をどう引き出し、それを観光振興や元気なまちづくりにどうつなげていくかという観点から、ワークショップなどのメンター的な役割に徹するとともに、住民の活動を持続的に担保するために、中核人材を育成し、彼らが活躍する組織(観光地域づくりプラットフォーム＝日本版DMO)を作り上げることのお手伝い、そのための地域の合意形成のお手伝いに全力を傾注する。</p>
鈴木 邦治	すずき くにはる	一般社団法人 頑張る地域支援し隊	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イノベーション創出による地域活性化及び人材育成、まちづくり ・自治体の広域連携による情報通信を用いた教育、介護、農業等の推進 ・新エネ省エネによる新産業の創出 ・地域資源を活用した6次産業の開拓 ・防災、減災を踏まえたまちづくり(スマートコミュニティ) ・道の駅やインキュベート施設などの活性化 ・企業誘致・公募事業による実証実験や研究ほか
早田 吉伸	そうだ よしのぶ	特定非営利活動法人 カット・ジャービー(Cut-jp)	<ul style="list-style-type: none"> ・「システムデザイン」「情報アーキテクティング」の考え方をベースに、様々な社会課題を解決するためのコンセプトワーク及びその実現のための事業プロデュースを多様なフィールドを通じて実践しています。 ・中長期的なランドデザインを描くことから、現場における「何をやったらいいかわからない」という状況の打破まで、マクロ・ミクロの課題を各ステークホルダーの方々と一緒に考え、試行し、解決に導くことをモットーにしています。 ・特にIT(情報技術)の領域においては、「利活用」「公共サービス」の視点からコンサルティングを実施し、地域活性化に向けた課題解決につなげていきます。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
曾我 治夫	そが はるお	(一財)運輸調査局	新潟支社勤務時は新潟県内及び山形県庄内エリアの地域振興に向けて、地域の観光資源の掘り起こし、磨き上げを行い主として首都圏からの送客に向けた観光開発・商品企画を担いました。この経験を活かし、本社及び東京支社においては観光開発に向けた社内体制整備や送客側での体制整備の実務を担当するとともに、鉄道を利用した旅づくりを展開しました。横浜支社では特に伊豆・横浜エリアの観光開発に向けて、輸送事業者の責任者として地域の関係者の皆様とともに知恵出しを行い、様々な観光施策を展開し地域の活性化に努めました。現在は観光開発のほか、地域の公共交通機関についても活性化についての研究を進めています。
高本 泰輔	たかもと たいすけ	株金沢商業活性化センター	<ul style="list-style-type: none"> ◆商業施設「プレーゴ」の運営 遊休地を活用した商業施設「プレーゴ」の開発からテナントの管理・運営 ◆金沢まちなかパーキングネットの運営 商業集積地2地区が一体となった駐車料金サービスシステムの立ち上げから管理・運営 ◆金沢ショッピングライナー「まちバス」の運行 金沢駅～武蔵地区～香林坊地区～金沢21世紀美術館を結ぶワンコインバスの運営 ◆まちなか情報の発信 ・北陸三県のFMラジオを通じて、毎週末にショッピング情報等を放送 ・まちなか全体のショッピングマップ(1,100店舗掲載)の制作と同マップサイトの運営 ◆商店街や大型店の組織づくり 事業構想、事業計画等の立案～事業実施 ◆その他(イベント、各種調査・研究事業等)
田中 淳一	たなか じゅんいち	株式会社パートナーエージェント	<p>これまでの企業経営・新規事業企画・PR企画などの経験を活かして、地域の結婚環境を向上させることにより、既婚者の結婚幸福度を向上させ、結果として未婚者の結婚意欲を向上させていくといった取り組みを推進しています。</p> <p>例えば、移住定住・女性活躍の分野に於いて、農業ICTやシェアリングエコノミー等の新しいテクノロジーの導入によって地域の女性を取り巻く結婚環境を向上させ、旧来型の社会規範が根強い地域の「文化のスマート化」を推進するなど、地域の人口流出といった課題に対して様々なテクノロジーを複合的に活用する取り組みを支援しています。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
野間 英樹	のま ひでき	株式会社ロジトイー	<p>ITの浸透とともに社会の在り方が変わるという確信の上でこれまで様々な事業者の経営戦略支援から身の丈に合った仕組みづくりを軸に仕事をしてきました。</p> <p><取り組み> 1)イノベーションにつながる場づくり イノベーションには異質な概念のぶつかり合いが必須だが、地方では人のコミュニティーが硬直化していることでイノベーションを阻害している場合が多い。 天草でも実際に場づくりを通じ売れる新商品開発につながってきている。 また、産学連携や提案活動など、イノベーションにつながる働きかけもしている。 例)三文会 東京大学を中心とする学生と起業家の交流を企画して2007年に始めた朝食会です。 延べ400回を超える開催では毎回硬軟織り交ぜた専門的なテーマでの発表と濃厚なディスカッションが行われます。 人員構成の多様さ、テーマの幅広さから、イノベーションの揺り籠となっており、この会の参加者を起点に各地で様々な動きが始まっています。 その一つで、甲府市で開催されている「得々三文会」は地域で今までつながりにくかったプレーヤー同士がつながることで、地域活性化の大きな原動力になってきています。</p> <p>2)ITネイティブ、IoTを活用した新事業支援 情報化社会と言われているが、紙の帳票をIT化しただけのIT化がほとんどである。 その点、今の地方ではITがある前提での新しい仕組み作りの最先端に躍り出るチャンスがある。 ・地方の事業者は中途半端にIT化されていない ・IoTという言葉に代表されるように現場仕事にITが入り込めるようにITデバイスがコモディティ化した ・地方には都市部にはない「現場」がたくさんあり、人手不足から生産性向上が待たないである 私自身は幼少期からPCを活用しており、IT業界とのつながりも強く、実現性・採算性のある提案ができる。 天草IoTイニシアティブを立ち上げ、現場とITをつなぎ始めている。</p> <p>3)個別企業のハンズオン支援 地方では急激に人手不足が生じてきています。これからリードしていく若手経営者はプレイングディレクターであることが多く、経営だけに集中できません。 そういった方々の経営を加速させるため、経営パートナーとして経営力アップと同時に経営者へのスキル移転をしている。</p> <p><私からの提案> 日本の地方が元気になるために、お手伝いできることは精一杯させていただきます。 1)中小零細企業の経営力を伸ばすハンズオン支援および必要な支援メニューの設計 2)出張講演・相談で「場づくり」「事業活性化」「IoT時代の地方戦略」について 3)天草の事業者やIT事業者との連携</p>
林 春野	はやし はるの	Vi@rt(パート)	<p>全国各地の地域の課題に「映像」使ったの取り組む仕組みづくりをしており、距離関係なく、過疎や情報発信に課題を置く地域の魅力を活かす取組をしている。地域に必要な外からの視点と、女性ならではの視点、そして地域そのものが見つめる視点を「映像」を使って対比し、そこから見える地域の課題や地域の守るべき良さや誇り、「ありのまま」を伝え気づいてもらおうと活動中。また、「映像を必要とする場所にこそ映像を」をテーマに、地域の本質である「人」を描くストーリーを構築。それらとSNS等を組み合わせるとともに、地域での映像クリエイターの育成活動(活躍の場の提供)も行っている。</p>
平野 龍平	ひらの りゅうへい	富士急行株式会社 / 一般財団法人コレゾ財団	<p>数々の地域活性化や観光振興のお手伝いをさせて頂いている内に、言うだけで何もしない人が多いこの世の中で、自ら考え、行動を起こし、真っ当で当たり前のことをごく当たり前に続けている人たちこそ、貴重で、尊い存在であり、行動し続ける先にしか、結果は生まれず、成果は後からついてくるものだ、ということに気が付きました。 いろんな地域のさまざまな事例を拝見してきて、成功事例や素晴らしい取り組み、活動に唯一、共通しているのが、魅力的な担い手の皆さんの存在です。 「COREZO(コレゾ)賞」表彰事業は、そんな方々が一堂に会して、ウマイ食を食べ、ウマイお酒を飲み交わしたら、きっとおもしろいことが起こるだろうと思って始めました。 「COREZO(コレゾ)賞」は、「権威なし」、「名誉なし」、「賞金なし」の三拍子揃った「三なし賞」の上、毎年、表彰式は、受賞者のおられる地方で自主開催して頂き、旅費、宿泊費は、自腹、飲食も参加者の持ち寄りなのに、既に4回実施し、延べ300名近い表彰者と関係者、賛同者の交流の場にもなっています。 案の定、日常、交流することもない、分野も職種も職種も違う多士済々な皆さんが一堂に会することで、思いもよらない化学反応が起こり、主催者も知らないところで、いろんなコラボや協働等、おもしろいことが次々に始まっています。 自分のような若輩者が「地域活性化伝道師」に認定され、何かアドバイスするなんておこがしく、先達の皆さんに対し、失礼に過ぎると自覚していますが、「COREZO(コレゾ)賞」他を通じて、数多くの皆さんとのご縁と人的ネットワークだけは、有しており、「人」と「人」のご縁をつなぐ役割は果たせるのではないかと考えています。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
麓 憲吾	ふもと けんご	NPO法人ディ!	奄美島興しイベント「夜ネヤ、島ンチュ、リスベクチュ」開催。 あまみエフエムの放送業務など
吉井 靖	よしい やすし	株式会社うぶすな	現在の役職・肩書 ●内閣府 地域活性化伝道師 ●内閣府 クールジャパン地域プロデューサー ●総務省 地域力創造アドバイザー ●東京商工会議所 中小企業国際展開アドバイザー ●一般社団法人 日本イベントプロデューサー協会 参事 ●社団法人 日本イベント産業振興協会 認定 - イベント業務管理者一級○民間企業アドバイザー : 富士ゼロックス西日本株式会社、富士ゼロックス北日本株式会社 ○総務省地域力創造アドバイザー派遣先: 秋田県能代市、秋田県三種町、秋田県男鹿市、秋田県秋田市、山形県長井市 ○「佐渡、お笑い島計画」佐渡に新たな観光客層を呼び込むべく、「お笑い芸人」を佐渡に半年間滞在させ、毎日佐渡情報を収集し、動画とブログでインターネット上に発信するプロジェクト。2005年から07年の3年間実施し、google検索「お笑い」で吉本興業を抜き、25位にポジションし、地域コンテンツとして圧倒的に見られるサイトとなる。 ○07年新潟中越沖地震で佐渡に風評被害が起き、早期の解決を図るべく「元気です! 佐渡キャンペーン」と題して佐渡島民100人の生の声をネット動画で配信。1月間で約2万人が閲覧。 ○地域商材として、佐渡海洋深層水を使った有機農法米「海 舞・umai」をブランド開発。5k 5000円の高価格帯ながら年間1000パックをネット販売するヒット商品となる。 ○秋田市観光アドバイザーとして、市民参加型観光サイト「アキタッチ」を開発。閲覧者数を一年で2倍にする。「JWDA Webデザインアワード」審査員特別賞受賞。 ○岐阜県「BRASIL GIFU 多文化共生プロジェクト」は、在日ブラジル人と日本人が相互理解を深め、共生できる社会を目指す地域に根ざした先進的な取り組みとして、「デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'11/第17回AMD Award'11」の「リージョナル賞」を受賞。